

銚子市地域防災力向上計画

1 目的

本計画は、自助・共助の取組を促進し、地域防災力の向上を図るため、千葉県地域防災力向上総合支援補助金を活用し、令和2年度から令和4年度において、以下に掲げる事業を実施するものである。

2 事業分野

(1) 自主防災組織等の育成・活性化

① 現状及び課題

本市では、町内会単位の自主防災組織の設立を促進しているものの、令和元年度の自主防災組織の活動カバー率（全世帯数のうち、自主防災組織の活動範囲に含まれている地域の世帯数の割合）は17.8%であり、全国平均84.1%や千葉県平均69.1%と比較し、著しく下回っている。

災害による被害を最小限に抑えるためには、「自助」「共助」「公助」の連携・協力体制が極めて重要であり、「共助」の要となる自主防災組織の設立促進の取組は急務となっている。

② 基本方針

町内会単位の防災講話、防災士等を対象とした防災ワークショップなどを実施し、自主防災組織設立の機運醸成を図る。また、自主防災組織に対し、活動に必要な資機材の購入に対して助成を行うことにより、より一層の自主防災組織の設立を促進する。

③ 目標（令和4年度末まで）

既存町内会組織を中心に自主防災組織の設立を促進し、自主防災組織の活動カバー率を向上させることにより、地域防災体制の強化を図る。

④ 具体的な取組

ア 自主防災組織の資機材整備費に対する補助

イ 自主防災組織等の交流・連携（防災ワークショップの開催）

(2) 避難環境の整備

① 現状及び課題

本市は三方を水（太平洋及び利根川）に囲まれており、市民や観光客の津波・洪水からの迅速な避難誘導が大きな課題となっている。また、令和2年3月に千葉県が土砂災害警戒区域を新たに指定・告示し、現在、市内に104箇所の土砂災害警戒区域が点在している。近年、風水害が全国で頻発化、激甚化しており、土砂災害警戒区域からの迅速な避難誘導も大きな課題の一つである。

さらに、新型コロナウイルス感染症という新たな脅威に備えるため、避難所が密とならないよう、市民一人ひとりが適切な避難行動（分散避難）をとれるよう対策を講じる必要がある。

② 基本方針

市民のみならず観光客も意識した津波避難誘導標識を整備するとともに、津波、洪水、土砂災害、避難所、津波避難ビルなどの情報を網羅した総合的なハザードマップを早急に作成・公表することにより、市民等の避難誘導対策を強化する。

③ 目標（令和4年度末まで）

犬吠埼や外川町を中心とした観光地に津波避難誘導標識を設置するとともに、津波、洪水、土砂災害、避難所、津波避難ビルなどの情報を網羅した総合的なハザードマップを作成、全世帯へ配布することにより、災害発生時に、市民等が適切な避難行動（分散避難）をとれるようにする。

④ 具体的な取組

ア 総合的なハザードマップの作成・配布

イ 津波避難誘導標識の設置